

# ハラスメントをなくすため ひとりひとりを大切に

中央大学では2007年4月1日より新たに『中央大学ハラスメント防止啓発に関する規程』『中央大学ハラスメント防止啓発ガイドライン』が施行されました。新規程・ガイドラインは中央大学ホームページに掲載しています。

—新しく施行された規程・ガイドラインについて、学生Bさんと相談員Aさんの会話—

## ハラスメントとは

学生・生徒および・教職員等の中で、個人的属性（性別、性指向、年齢、身体的状況や特性、出身地、家族関係、信条、国籍、民族、人種、職業、その他の社会的地位等）および人格に関し、人を傷つけるような発言や行動を行い、その人に不利益や損害を与え、または個人の尊厳もしくは人格を侵害することをいいます。

## セクシュアル・ハラスメント

相手の意に反する性的な言動を行い、それによって相手を傷つけ、個人の尊厳や人格を侵害することをいいます。

- A「セクハラ」ということばは、ずいぶんポピュラーになりましたが、セクシュアル・ハラスメントについての「キホンのキ」を教えてください。
- B簡単にいうと、相手の不快感、嫌だという気持ちや意志を無視して、性的な言動を行うことです。
- Aいつでもセクハラのことを気にし過ぎると、人間関係がギクシャクしませんか？
- Bそういう質問もよく聞かれますが、いやなことをされても我慢してきた人に、「いやだ」と言ってもいいのだ、という保障が与えられたのだと考えてみてください。たとえば、サークル室の壁に貼られていた女性のヌード写真のポスターを、女性のメンバーが「不愉快だからはずしてほしい」と言い、その気持ちに

なぜ気づかなかったのかを話し合うことができたなら、もっとよい人間関係が生まれると思いませんか？

Aそうすると、「いやだ」と言いにくい雰囲気も問題であるということですね。

Bそうですね。性別や年齢、先輩後輩という違いを上下の関係にせず、距離を保ちましょう。ハラスメントを防ぐには、互いに敬意を持ってつきあうことから出発したいですね。



## アカデミック・ハラスメント

教員と学生のように、教育・研究上、または職務上、指導的な立場にある人が、指導を受ける人に対して差別的な言動を行うことで、学修・研究、または就業環境が悪化し、自由で主体的な活動が妨げられることをいいます。

Aアカデミック・ハラスメントって大学で起きるハラスメントという意味ですよね？

B大学に限らず、学会や研究会の場で起きることも想定されています。指導教員や先輩が、権力をふるうことで、勉強や研究、就業環境が悪くなることをいいます。

A先生が、教育指導することとアカハラはどこが違うのでしょうか？

Bたとえば、人前で「おまえはバカだ」「無能だ」「役に立たない」などと、ののしることと、研究上の問題点を論理的に指摘することとは違いますよね。教育・研究活動におけることばによる暴力も、アカハラのひとつだと捉え

てください。

A 自分の誤りを指摘されてもきちんと説明されれば、それが自分のためになるのだから納得がいくと思います。

B そうですね。ただ、先生が単位の認定の権限や、就職について力を持っているため、弱い立場の人が何もいえないとか、周囲も自分の立場を守るために口をつぐんでしまい潜在化しやすいつわられています。

## パワーハラスメント

優越的な立場にある人が、従属的立場にある人に対して、権限や地位を利用して、不利益を与えたり、個人の尊厳や人格を侵害するような不当な言動を行うことをさします。

A パワハラとは、上司が部下の失敗を人前で大声で叱るとか、部下の意見を無視するとか、どうてい無理な仕事を割り当てて、できないと「辞めてしまえ」と怒鳴る、といったことです。ですから、学生のうちはとりあえず関係ないですね。

B そうとはかぎりませんよ。サークルなどの課外活動でも、指導的立場にある人と、指導を受ける人といった力関係を背景にして、ハラスメントが生じる可能性があります。

A たとえば、先輩が後輩に理不尽な「しごき」をしたり、先輩に意見をした後輩を「生意気だ」といじめたりすることも、パワハラにあたるかもしれないわけですか。

B はい。また、飲み会などで無理にお酒を飲ませたり、飲み会への参加を強制したりすることも、パワー・ハラスメントのひとつです。



## ハラスメントを防ぐには

A ハラスメントは、具体的に、今説明してもらったセクハラ、アカハラ、パワハラのうち3つですか？

B この3つに限定されるわけではありませんし、またそれぞれが複雑に絡み合って起こることも多いようです。

A では、ハラスメントを防止するためにはどうしたらいいのですか？

B ハラスメント防止の基本は、ひとり一人の違いを認め互いの人格を尊重することです。自分自身を大切に（ひとを貶めて自分の相対的優越を確保するのではなく）、そして相手にとって同じように大切な相手の人格を尊重し、自分がされたら嫌なことはひとにしないようにすること。想像力を働かせて、相手の視点に立ってみること。一方的な思い込みや押しつけのないコミュニケーションの構築を、日頃から心がけること。また、自分で気づかずに相手の意に反する言動をしてしまうことは誰にでもありますから、その時に周囲の人が注意をしやすい雰囲気にしてきましょう。注意されてカチンときても、まずは自分の言動を振り返り、謝るべきところは誠意をもって謝罪しましょう。また誤解等があるようならば説明しましょう。

A 「ハラスメントかな」という言動を受けたときの対処を教えてください。

B できれば「不快だ」「嫌だ」という気持ちをはっきりと相手に伝えることです。でも、言いにくい状況だとか、不利益をこうむるとか、言っても止めてくれないという場合は、一人で悩まないで、信頼できる人か、ハラスメント相談窓口にご相談してください。

A ハラスメントについて考えることがよりよい人間関係に繋がっていくのですね。よく分かりました。

## ハラスメントの相談窓口は

ハラスメント防止啓発支援室 学生部学生相談室(多摩・後樂園キャンパス)  
専門職大学院事務室相談員 通信教育部事務室相談員

## ハラスメント防止啓発支援室

**ホットライン** ☎ 042-674-3507 **メール** harass-soudan@tamajs.chuo-u.ac.jp